

2025 年度
横浜みどりアップ計画
実績報告書【巻末資料】



横浜みどりアップ計画の評価・提案

横浜みどりアップ計画市民推進会議 2025 年度報告書

骨子案

横浜みどりアップ計画市民推進会議

2026 年〇月

目次

1 はじめに.....	1
2 横浜みどリアップ計画市民推進会議について.....	2
3 市民推進会議 2024～2025 年度の活動実績.....	3
(1) 活動の概要	
(2) 活動の詳細内容	
ア 市民推進会議(全体会議)	
イ 施策別専門部会	
ウ 広報・見える化部会	
エ 調査部会(現地調査)	
4 横浜みどリアップ計画の評価・提案.....	10
◆計画の体系	
(1) 柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む.....	11
施策1 まとまりのある樹林地の保全・活用	
(2) 柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる.....	13
施策1 農に親しむ取組の推進	
施策2 「横浜農場」の展開による地産地消の推進	
(3) 柱3 市民が実感できる緑や花をつくる.....	17
施策1 市民が実感できる緑や花の創出・育成	
施策2 ガーデンシティ横浜の更なる推進	
(4) 効果的な広報の展開.....	21
市民の理解を広げる広報の展開	
(5) その他事項に対する評価・提案.....	23
5 市民推進会議委員名簿.....	24
6 市民推進会議委員からのコメント.....	27
7 広報・見える化部会からの情報提供.....	28

1 はじめに

座長によるメッセージ

横浜みどりアップ計画市民推進会議
座長 池邊 このみ

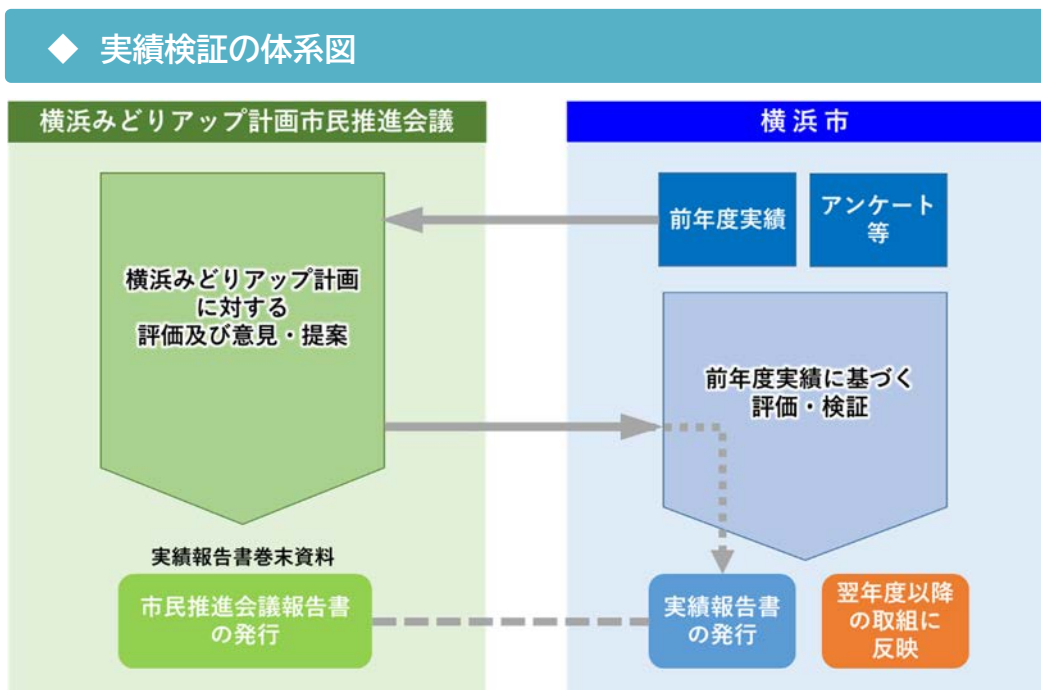
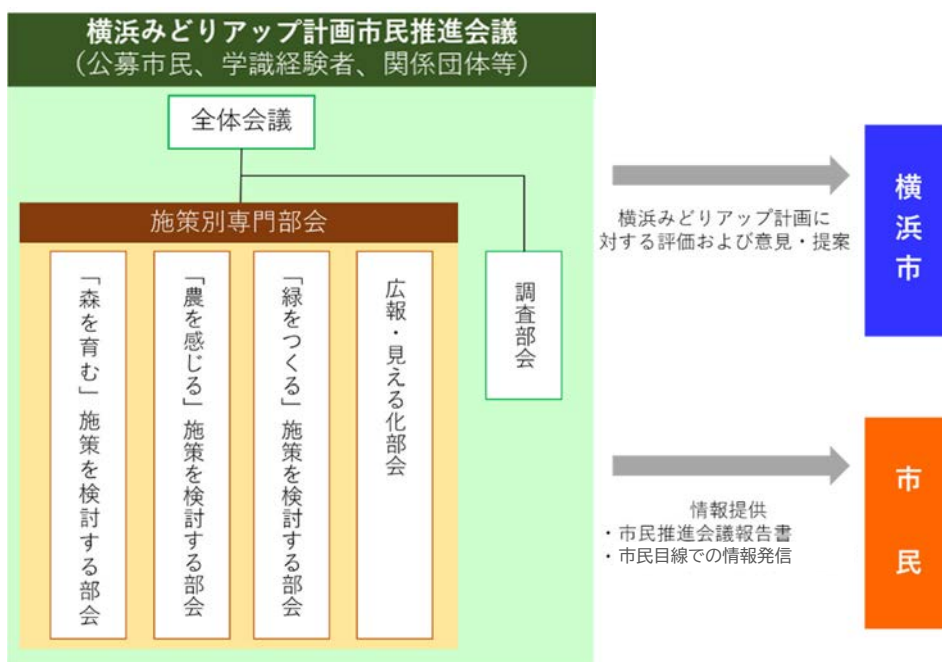
2 横浜みどりアップ計画市民推進会議について

「横浜みどりアップ計画市民推進会議」は、市民参加により、横浜みどりアップ計画の評価や意見・提案、市民への情報提供などを行うことを目的として、2009年に設置されました。2012年からは、条例に基づく附属機関として位置付けられています。

市民推進会議では、前年度の実績を踏まえて全体会議や施策別専門部会で評価及び意見・提案を行うとともに、みどりアップ計画の取組を行っている現場を視察し、現状の検証や関係する団体、市民の皆様と意見交換を行っています。

こうした評価や提案を報告書としてまとめ、翌年度以降の市の取組にも反映しています。

なお、2024年度からは新たな委員も加わり、公募市民、学識経験者、関係団体、町内会・自治会の代表など、計17名で構成され、活動を行っています。(24ページに委員名簿を掲載)



3 市民推進会議 2024～2025 年度の活動実績

(1) 活動の概要

ア 横浜みどりアップ計画に対する評価及び意見・提案

2024 年度から始まった「横浜みどりアップ計画[2024-2028]」の内容や進捗を確認しながら意見交換をし、2025 年度までの実績について、本報告書に評価・提案をとりまとめました。

また、みどりアップ計画の取組について現地視察を行い、現状の検証や関係団体の皆さまと意見交換を行いました。

本会の写真

活動の様子(全体会議)

イ 市民への情報提供

「みどりアップ計画」や「みどり税」について幅広く市民の皆さまに知っていただくため、情報提供のあり方について検討し、ソーシャルメディア・ポストカードを活用した市民目線の情報発信を行いました。

活動の様子(現地調査)

◆ 2025年度報告書発行までの活動実績

	2025年度報告書発行に向けた活動実績	市民への情報提供
R7 8月		HP・SNS による発信 第 60 回広報・見える化部会
10 月	第 25 回調査部会	
2 月		第 61 回広報・見える化部会
3 月	第 45 回横浜みどりアップ計画市民推進会議	ポストカードの発行

報告書発行までのスケジュールを追加します

(2)

活動の詳細内容

ア 市民推進会議(全体会議)

市民推進会議の全体会議において、部会の構成や調査の実施など年間の活動内容を確認し、みどりアップ計画の内容、進捗状況について説明を受けて、質疑応答、意見交換を行いました。

第 45 回市民推進会議(2026 年3月 19 日)

- ・横浜みどりアップ計画市民推進会議2か年の進捗状況について
- ・市民推進会議 2025 年度報告書骨子案について

第 46 回市民推進会議(2026年〇月〇日)

- ・
- ・

本会の写真

本会の写真

全体会議の様子

イ 施策別専門部会

計画の柱ごとに施策別専門部会を設置し、事業分野ごとに詳細に説明を受け、意見交換を行いました。
※2014 年度からは「広報部会」、「見える化部会」を合わせ、「広報・見える化部会」を設置しているため、「効果的な広報の展開」事業に対する評価・提案については、「広報・見える化部会」にて実施しています。

第 19回「森を育む」施策を検討する部会(2026 年〇月〇日)

- ・
- ・

第 19回「農を感じる」施策を検討する部会(2026 年〇月〇日)

- ・
- ・

第 19回「緑をつくる」施策を検討する部会(2026 年〇月〇日)

- ・
- ・

森部会の写真

農部会の写真

緑部会の写真

各部会の様子

ウ 広報・見える化部会

施策別専門部会としてみどりアップ計画の広報について評価・提案を行うとともに、みどりアップ計画やみどり税についての情報提供のあり方の検討や情報発信を行いました。

2024年度からは、これまでの紙媒体での広報誌に代わる新たな情報発信のあり方を検討し、ソーシャルメディア「note」で「Yokohama みどりアップ Action」を発信したほか、その情報流通の手段として、イベント等で配布できるポストカードを作成しました。

委員自らみどりアップ計画の取組現場を取材し、市民目線の現場レポートをお届けしています。

第 60 回広報・見える化部会(2025 年8月 26 日)

- ・市民目線での情報提供のあり方について

第 61 回広報・見える化部会(2026 年2月 10 日)

- ・市民目線での情報提供のあり方について

第 62 回広報・見える化部会(2026 年〇月〇日)

- ・
- ・



取材の様子



広報・見える化部会の様子



Yokohama みどりアップ Action

「Yokohama みどりアップ Action」は 2019 年度から 2023 年度までの間に、広報誌として 1～9号が発刊されました。

2024 年度からは、より多くの方々に横浜のみどりの魅力をお届けするため、ソーシャルメディア「note」に発信の場を移し、広報・見える化部会の7人が市民目線で“横浜のみどり”の魅力を伝えています。

(28 ページにこれまでの実績を掲載)



https://note.com/yokohama_m_act



工 調査部会(現地調査)

みどりアップ計画の取組を行っている現場を視察し、市職員や地域で活動されている方々と意見交換をしました。

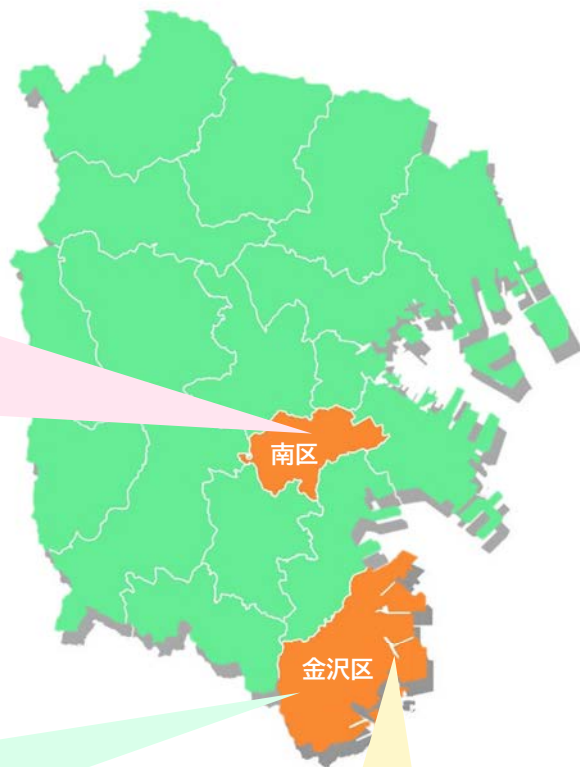
第25回調査部会

日時 2025年10月29日(水) 午後1時00分～午後5時00分

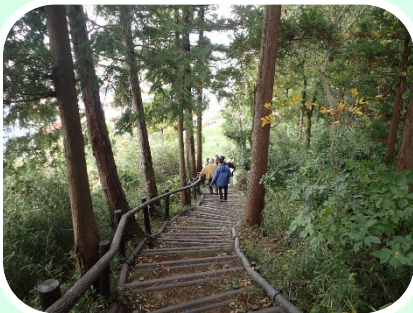
参加者 市民推進会議委員9名

調査場所
・関ヶ谷市民の森(金沢区)
・柴シーサイド恵みの里(金沢区)
・大岡川プロムナード(南区)

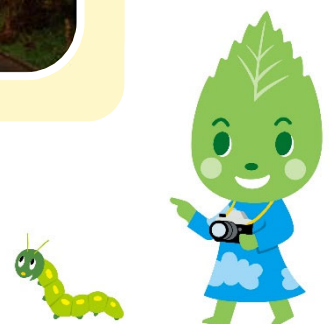
柱3 大岡川プロムナード



柱1 関ヶ谷市民の森



柱2 柴シーサイド恵みの里



(ア) 関ヶ谷市民の森

金沢区西部に位置する「関ヶ谷市民の森」を視察しました。森で活動している愛護会の方々から、森の維持管理や利活用、地域との交流等について説明を受けました。

みどりアップ計画
の取組

取組2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進
取組5 森づくり活動団体への支援



森の中の視察の様子



森の素材で制作したおもちゃの紹介



活動団体からの説明の様子



竹林保全のために伐採した竹を利用した竹垣

委員からの声

- 伐採された竹で竹柵や遊具を作成する等、森の恵みが余すところなく活用されています。また、周囲の水路には蛍が生育し、地域の憩いの場として訪れる多くの皆さんに愛されている様子が伝わってきました。
- 活動に関わるメンバーは高齢の方が主体となっているとのことでしたので、より多くの協力者を巻き込みながら、この緑を次世代につないでいくことを期待しています。
- 「森を起点とした他団体とのつながり」というフレーズが印象に残りました。特に、小学校・フリースクール・大学研究室といった若年層との接点や、祭り等の近隣住民との接点が多く、開かれた団体であるという点で先進的な取り組みであると感じました。
- 竹林の整備と活用、植樹、梅の育成、地域や子どもたちとの関わりは、健康寿命を延ばす、高齢化社会のお手本となるような事例だと思いました。合わせて資源循環などの環境問題への寄与や、環境教育、コミュニティの活性化等の面からも、全国の参考になると思います。

(イ) 柴シーサイド恵みの里

金沢区にある「柴シーサイド恵みの里」を視察しました。農業者団体による農景観保全の取組、農体験教室や農産物の直売等、市民が農に親しめる取組について説明を受けました。

みどりアップ計画 の取組

- 取組 10 農景観を良好に維持する活動の支援
- 取組 13 市民が農を楽しみ支援する取組の推進
- 取組 14 地産地消にふれる機会の拡大



柴シーサイド恵みの里に広がる風景



市担当者からの説明の様子

委員からの声

- 地元の花、野菜、柑橘などの直売やJA横浜など地域と連携したイベントの開催によって市民に浸透し、注目度の高い地域柄と恵みの里事業の取り組みは、市民の農業への理解と横浜市の農業振興にも大きく貢献していると感じました。
- みどりアップの記載があるプレートが何ヶ所もありましたが、それでも少ない印象です。もう少しアピールできるといいですね。
- 急峻な立地で、市民のアクセスがよいとはいえませんが、地域の方が回遊できるような場所にしていくことも、みどりアップ計画としては大事な視点だと思います。
- 入り口にポップな看板等が見当たらず、近くを歩いていても何があるか気づかないような印象を持ちました。知る人ぞ知る直売所ではもったいないと感じます。
- みかん等の収穫体験には多くの集客があることから、「半農半漁」を活かして海産物と農産物を1日で体験できるようなパッケージがあると、みどりや農を体験できるイベントとして子育て層にマッチすると感じました。
- 海が見える高台で地元農家の方々の協議会が管理していて、農家の方々が主体的に道路も含めたエリア全体を管理されている様子が印象に残りました。
- 横浜市と農家が本来めざしている、市民が農とふれあう場になっていることを実感いたしました。これからもさらに行政と農家が一体となって未来の子ども達のためにも御努力、発展されることを望みます。
- 地域の開発計画にみどり税を使った農に親しむイベントを組み込んだ工夫に感銘を受けました。ただ、一般の方から見ると、「みどりアップ」であること、「みどり税」が使われていることが分かりにくい点ももったいないと感じました。

(ウ) 大岡川プロムナード

南区内を縦断する大岡川沿いに整備された「大岡川プロムナード」を視察し、桜並木の維持管理や再生について説明を受けました。

みどりアップ計画 の取組

取組 18 街路樹による良好な景観づくり



大岡川と桜並木



市担当者からの説明の様子

委員からの声

- 南区内を横断する大岡川の桜並木の取り組みは、地域のコミュニティーを活性させ、安全で快適な川辺を散歩できる空間として多くの市民に愛され、憩いの場となっていると感じました。
- 街路樹の維持管理にみどり税が充当されていることは意外に知られていないので、みどりアップの取り組みであることを示すプレートの設置は大変素晴らしいと思います。街路樹に限らず、みどりアップの取り組みであることを積極的に発信していくことが望めます。
- 桜にも町にも川にも優しい管理を実感しました。この管理についてもっと市民の方々に知られることは、環境を守っていくことにもつながると思います。桜の季節だけでなく、もっと市民に愛される川になるといいなと思います。
- 市民が最も身近に感じられる自然という紹介が印象に残りました。他の取り組みと比べ、目的を持たずとも日常の景色として見ており、かつ地域市民の保全活動に依存しないものであるため、エリア問わず多くの市民が恩恵を受ける取り組みだと感じました。
- データベース化や舗装材の選択など街路樹管理の現状を伺うことができ、横浜市の取組が進んでいること、みどり税が街路樹にも有効に使われていることがわかりました。
- 桜の再生が、異なる品種の苗木の植栽だけでなく、歩道の透水性舗装への変更、根上り防止をはかる植栽基盤の施工などまで幅広い事業までが含まれるというのは目からウロコでした。
- 植樹して40年以上経過したとのことですが、並木の再生は予算面、工事等々、色々大変なことだと思います。市民が求めているまちなかの緑や街路樹にかかわる総ての人に頑張ってほしいと思いました。
- みどり税の使われ方が最も解かりやすく、また市民に自然に認識される場所ですね。「横浜みどりアップ葉っぱー」マークの使用など、今年度からの取り組みについても説明があり、今後の展開に期待したいところです。

4 横浜みどりアップ計画の評価・提案

市民推進会議では、みどりアップ計画の柱1「市民とともに次世代につなぐ森を育む」、柱2「市民が身近に農を感じる場をつくる」、柱3「市民が実感できる緑や花をつくる」の施策と、みどりアップ計画を市民の皆さまに周知するための「効果的な広報の展開」について、調査部会（現地調査）で活動団体などからいただいた意見も踏まえて、評価・提案を行いました。

◆ 計画の体系

柱1 市民とともに市民とともに次世代につなぐ森を育む

施策1

まとまりのある
樹林地の保全・活用

事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

事業② 良好な森の育成

事業③ 森に関わる多様な機会の創出

柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

施策1

農に親しむ
取組の推進

事業① 良好な農景観の保全

事業② 農とふれあう場づくり

施策2

「横浜農場」の展開による
地産地消の推進

事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進

事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

施策1

市民が実感できる
緑や花の創出・育成

事業① まちなかでの緑の創出・育成

施策2

ガーデンシティ横浜の
更なる推進

事業② 緑や花があふれる地域づくり

事業③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成

事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成

効果的な広報の展開

事業① 市民の理解を広げる広報の展開

(1)

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

森(樹林地)の多様な役割や機能が発揮されるよう、緑のネットワークの核となるまとまりのある森を重点的に保全するとともに、保全した森を市民・事業者とともに育み、次世代に継承。

施策1

まとまりのある樹林地の保全・活用

事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

- (1) 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

事業② 良好な森の育成

- (1) 森の多様な機能に着目した森づくりの推進
- (2) 指定した樹林地における維持管理の支援

事業③ 森に関わる多様な機会の創出

- (1) 森づくりを担う人材の育成
- (2) 森づくり活動団体への支援
- (3) 森に関わるきっかけづくり
- (4) 森の多様な楽しみづくり

2025 年度実績報告書 関連ページ



- 取組の評価・検証
p.〇～p.〇
- 各区の実績
p.〇～p.〇

2025 年度の写真に更新します

事業①

特別緑地保全地区に新規指定された樹林地
羽沢町具行特別緑地保全地区(神奈川区)



事業② 森の多様な機能に着目した森づくりの推進 古橋市民の森(泉区)



事業③ 森づくりを担う人材の育成
新治市民の森(緑区)



事業③ 森に関わるきっかけづくり 森のネイチャーゲーム(瀬谷区)

2025 年度の写真に更新します

◆ 施策1についての評価・提案

事業①について

事業②について

「森を育む」施策を検討する部会で評価・提案内容を検討

事業③について

「森を育む」施策を検討する部会 部会長コメント

.....

望月 正光

(2)

柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

良好な景観形成や生物多様性の保全など、農地が持つ環境面での役割や機能に着目した取組、地産地消や農体験の場の創出など、市民と農の関わりを深める取組を展開。

施策1

農に親しむ取組の推進

事業① 良好な農景観の保全

- (1) 水田の保全
- (2) 特定農業用施設保全契約の締結
- (3) 農景観を良好に維持する活動の支援
- (4) 多様な主体による農地の利用促進

事業② 農とふれあう場づくり

- (1) 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設
- (2) 市民が農を楽しみ支援する取組の推進

2025 年度実績報告書 関連ページ



- 取組の評価・検証
p.〇～p.〇
- 各区の実績
p.〇～p.〇



事業① 水田の保全(青葉区)



事業① 農景観保全整備
(土砂流出防止対策)(都筑区)

2025 年度の写真に更新します



事業② 柴シーサイド恵みの里
じゃがいも掘り(金沢区)



事業② 市民農業大学講座
ブドウの管理作業(保土ヶ谷区)

◆ 施策1についての評価・提案

事業①について

事業②について

「農を感じる」施策を検討する部会で評価・提案内容を検討

施策2

「横浜農場」の展開による地産地消の推進

事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進

(1) 地産地消にふれる機会の拡大

事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開

(1) 地産地消を広げる人材の育成・支援

(2) 市民や企業等との連携

2025 年度実績報告書 関連ページ



- 取組の評価・検証
p. 〇～p. 〇
- 各区の実績
p. 〇～p. 〇



事業③ にいほる長屋門朝市
(緑区)



事業③ 11月地産地消月間における
キャンペーン

2025 年度の写真に更新します



事業④ はまふうどコンシェルジュ講座における
農作業体験(泉区)



事業④ 横浜赤レンガと連携した「おいも万博」
における街なか収穫体験の実施(中区)

事業③について

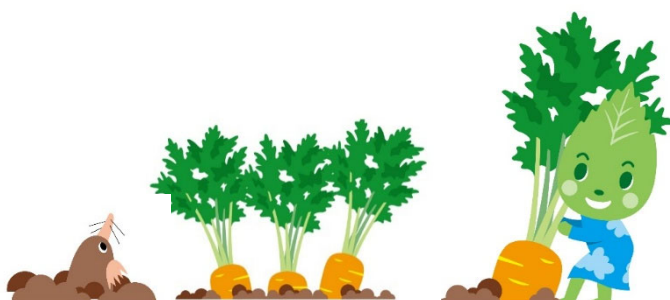
事業④について

「農を感じる」施策を検討する部会で評価・提案内容を検討

「農を感じる」施策を検討する部会 部会長コメント

.....

池島 祥文



(3)

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

街の魅力を高め、賑わいづくりにつながる緑や花、市民が実感できる緑の創出。また、地域で緑を創出・継承する市民や事業者の取組を支援。

施策1

市民が実感できる緑や花の創出・育成

事業① まちなかでの緑の創出・育成

- (1) シンボリックな緑の創出・育成
- (2) 街路樹による良好な景観づくり
- (3) 公開性のある緑空間の創出支援
- (4) 建築物緑化保全契約の締結
- (5) 名木古木の保存

2025 年度実績報告書 関連ページ



- 取組の評価・検証
p.〇～p.〇
- 各区の実績
p.〇～p.〇



事業① 公有地化によるシンボリックな緑の創出・育成
北寺尾六丁目サムエル公園(鶴見区)



事業① 街路樹による良好な景観づくり
石崎川プロムナード(西区)

2025 年度の写真に更新します



事業① 公開性のある緑空間の創出支援
みなとみらい複合施設(西区)



事業① 名木古木の保存
新規指定樹木(栄区)

◆ 施策1についての評価・提案

事業①について

「緑をつくる」施策を検討する部会で評価・提案内容を検討

事業② 緑や花があふれる地域づくり

- (1) 地域緑のまちづくり
- (2) 地域に根差した緑や花の楽しみづくり
- (3) 人生記念樹の配布

事業③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成

- (1) 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成

- (1) 都心臨海部等の^{りよつか}緑花による魅力ある空間づくり

2025 年度実績報告書 関連ページ



- 取組の評価・検証
p.〇～p.〇
- 各区の実績
p.〇～p.〇



事業② 地域緑のまちづくり
野庭団地地区(港南区)



事業② 地域に根差した緑や花の楽しみづくり
球根ミックス花壇づくり講習(山下公園、中区)



事業③ 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成
太尾保育園ビオトープ整備(港北区)



芝生講習会(本郷特別支援学校、栄区)

2025 年度の写真に更新します



事業② 人生記念樹の配布(神奈川区)



事業④ 都心臨海部等の緑花による魅力
ある空間づくり(新港中央広場、中区)

◆ 施策2についての評価・提案

事業②について

事業③について 「緑をつくる」施策を検討する部会で評価・提案内容を検討

「緑をつくる」施策を検討する部会 部会長コメント

.....

竹内 智子



(4) 効果的な広報の展開

取組の内容や実績について、より多くの市民・事業者の皆様理解されるとともに、緑を楽しみ、緑に関わる活動に参加していただけるよう、広報媒体の特性を生かし、効果的な情報発信を推進。

事業① 市民の理解を広げる広報の展開



図書館でのポスター掲示

2025 年度実績報告書 関連ページ



●取組の評価・検証
p.〇～p.〇



イベントでの PR
(里山ガーデンフェスタ)



イベントでの PR
(よこはま生物多様性フェスティバル)



区役所での PR

◆ 施策についての評価・提案

- ・広報や発信においては、情報の源流をどのように作り、それを様々な手法で市民に伝えるといった情報流通の戦略が非常に重要です。
- ・広報を通じて、みどりアップ計画によりどのような恩恵を得ているのかという実感を市民にもってもらうことが大切です。実績数値を伝わりやすくする表現の工夫や、市民の声をたくさん拾うなど共感を得られるような定性的な表現も加えていくといいと考えます。
- ・取組においては、教育現場などの他事業との関わりも大きいことから、こういったつながりを生かした情報発信について検討すべきと考えます。作成した「よこはまこどもみどりアップリーフレット」を学校の教材として活用してもらうなどして、教育現場で横浜の緑をテーマに考えてもらうような能動的な発信を行い、横浜の緑の取組への関心が広がること、理解と共感が深まることを期待します。

.....

大竹 千広



(4)

効果的な広報の展開

取組の内容や実績について、より多くの市民・事業者の皆様理解されるとともに、緑を楽しみ、緑に関わる活動に参加していただけるよう、広報媒体の特性を生かし、効果的な情報発信を推進。

事業①

市民の理解を広げる広報の展開



2025 年度の写真に更新します



図書館でのポスター掲示

2025 年度実績報告書 関連ページ



●取組の評価・検証
p.〇～p.〇



イベントでの PR
(里山ガーデンフェスタ)



2025 年度の写真に更新します

イベントでの PR
(よこはま生物多様性フェスティバル)



区役所での PR

◆ 施策についての評価・提案

広報・見える化部会で評価・提案内容を検討

.....

大竹 千広



(5)

その他事項に対する評価・提案

本会・部会で出た事業以外に対する意見を掲載

5 市民推進会議委員名簿

横浜みどりアップ計画市民推進会議 委員名簿(2024年10月)

(50音順・敬称略)

役職	氏名	区分	備考
	池島 祥文	学識経験者	横浜国立大学大学院 教授
座長	池邊 このみ	学識経験者	千葉大学 グランドフェロー
	石原 信也	関係団体	横浜商工会議所 産業振興部長
	岩本 誠	関係団体	三保市民の森愛護会 会長
副座長	内海 宏	学識経験者	(株)地域計画研究所 代表取締役
	大竹 千広	公募市民	
	金井 順	公募市民	
	河原 真友子	公募市民	
	菊池 賢児	関係団体	横浜市町内会連合会 幹事
	北原 まどか	公募市民	
	小金井 進	関係団体	横浜農業協同組合 営農部長
	酒井 智規	公募市民	
	竹内 智子	学識経験者	千葉大学大学院 准教授
	飛田 尚弥	公募市民	
	野路 幸子	関係団体	横浜市中央農業委員会 委員
	樋上 祐造	関係団体	よこはま緑の推進団体連絡協議会 会長
	望月 正光	学識経験者	関東学院常務理事、関東学院大学名誉教授

「森を育む」施策を検討する部会 名簿

役 職	氏 名	区 分	備 考
	石原 信也	関係団体	横浜商工会議所 産業振興部長
	岩本 誠	関係団体	三保市民の森愛護会 会長
	酒井 智規	公募市民	
	飛田 尚弥	公募市民	
部会長	望月 正光	学識経験者	関東学院常務理事、関東学院大学名誉教授

「農を感じる」施策を検討する部会 名簿

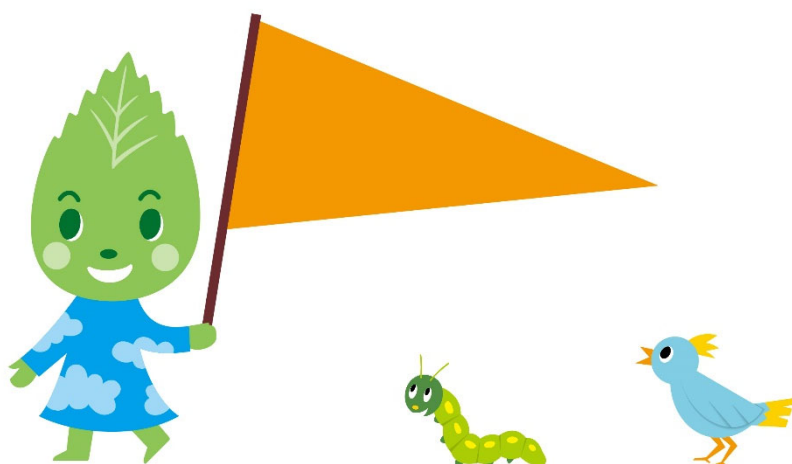
役 職	氏 名	区 分	備 考
部会長	池島 祥文	学識経験者	横浜国立大学大学院 教授
	大竹 千広	公募市民	
	河原 真友子	公募市民	
	小金井 進	関係団体	横浜農業協同組合 営農部長
	野路 幸子	関係団体	横浜市中心農業委員会 委員

「緑をつくる」施策を検討する部会 名簿

役 職	氏 名	区 分	備 考
	金井 順	公募市民	
	菊池 賢児	関係団体	横浜市町内会連合会 幹事
	北原 まどか	公募市民	
部会長	竹内 智子	学識経験者	千葉大学大学院 准教授
	樋上 祐造	関係団体	よこはま緑の推進団体連絡協議会 会長

広報・見える化部会 名簿

役 職	氏 名	区 分	備 考
部会長	大竹 千広	公募市民	
	金井 順	公募市民	
	河原 真友子	公募市民	
	北原 まどか	公募市民	
	酒井 智規	公募市民	
	飛田 尚弥	公募市民	
	望月 正光	学識経験者	関東学院常務理事、関東学院大学名誉教授



6 市民推進会議委員からのコメント

市民推進会議の委員を務めてきたなかで感じたことや、生活の中で、みどりについて日ごろ感じたことについて、委員からのコメントです。

〇〇委員コメント

委員の皆さまにコメントをいただきます



7 広報・見える化部会からの情報提供

ソーシャルメディア note への記事掲載

横浜みどりアップ計画
市民推進会議広報誌

Yokohama みどりアップ Action

https://note.com/yokohama_m_act



◆人生の節目のお祝いに、緑を！
おうちで育てる人生記念樹



(2025年8月掲載)

◆彼岸花



(2025年9月掲載)

◆「森があるから、生き物がいる」
—横浜の自然を次世代へ



(2025年9月掲載)

◆森のパトロール



(2025年11月掲載)

◆「みどりアップ」の現場に
行ってきました！



(2026年1月掲載)

◆学生たちの手で拓く、
新たな「森」の在り方



(2026年2月掲載)

◆みどりが支える川の生き方



(2026年2月掲載)

※市民推進会議事務局で作成した記事はこのページに掲載していません。

ポストカードの作成 (2026年3月発行)

「横浜みどりアップ計画」を子育て世代にPRするためのポストカードを作成しました。ポストカードは各区役所・土木事務所・公園緑地事務所・農政事務所等の公共施設のほか、みどりアップ計画に関連したイベント等でも配布しています。

表面



裏面

〈暮らしを支え、豊かにするみどり〉

横浜には、森・公園、田んぼ・畑、植物のみどりがたくさんあります。このみどりをずーっとつないでいきたい!というみんなの思いが「横浜みどりアップ計画」です。



横浜みどりアップ **葉っぱ**



みどりアップ計画

〈みどりの体験はコチラから〉



森をたのしむ



緑をつくる



農を感じる



みどりアップイベントカレンダー

〈みんなでつくるみどりのAction〉

横浜にあるみどりの魅力はここから発信中!

note「YokohamaみどりアップAction」続々更新。







つながる想い、育つ緑
横浜みどり税

note「YokohamaみどりアップAction」

作成: 横浜みどりアップ計画市民推進会議 広報・見える化部会
 お問い合わせ: 横浜市みどり環境局戦略企画課(事務局)
 TEL: 045-671-4214 E-mail: mk-mimiplan@city.yokohama.lg.jp

キトリ線で切り取るとしおりになります!



2026年3月発行 メールはこちら



横浜みどりアップ 葉っぴー